



浜っ子

発行 カトリック浜寺教会
高石市羽衣 2-2-27
TEL072-261-1563
FAX072-261-1594

2017年2月号 (2017.1.29 発行)

手紙

崔周永神父

下記の手紙は復活祭に洗礼を、お母さんと3人共に受ける為に、洗礼準備講座に通っている小学六年の廣瀬友哉と、初聖体クラスで勉強しているアヤミちゃんへの手紙です。アヤミちゃんは友哉君の妹で小学一年生、とても元気な女の子です。二人は、手作りのお菓子・北欧スウェーデンの幸運をもたらすダーラナホースのしおりをプレゼントしてくれました。それに、今度のクリスマスの際には素敵なクロスステッチを友哉君から頂き、そのお礼の手紙を、友哉君の承諾を受けて載せて頂きます。

廣瀬友哉君と文美ちゃん

友哉君とアヤミちゃんと会うことができた去年は私にとって大変意味深い年でした。叙階されたばかりなのに、仕事を始めると自分の叙階式がいつだったかも忘れるくらい、忙しいというより充実した日々を過ごして来たなと思ったりします。

司祭になって私は本当に幸せです。ごミサの中で自分が司祭であることを思い出す度に、私は幸せでむせてしまいそうです。嬉しさのあまり涙が出そうで堪えるのに苦労するときもあります。ちっぽけな自分というものを通して神様と人々とを繋ぐことができる、という途轍もない恵みにあずかっていることを神様に感謝するばかりです。友哉君とアヤミちゃんとの出会いも神様を賛美するごミサを通して、お互い親しくなったのも神様を通してのことでした。

友たちになる、友情を深めていくことは何によってでしょうか。プレゼント。はい、そうです。プレゼントというのは、お店で買える何かのモノではなく、その人自身を意味します。つまり、私にとって友哉君とアヤミちゃんが元気に過ごし、すくすく育ってくれることが一番嬉しいプレゼントです。私も司祭として忠実に神様に従って生きていくこと、それが友哉君とアヤミちゃんにあげられる、最も大きいプレゼントです。

プレゼントといえば、この前頂きました馬のクロスステッチ。ダーラナホースを丁寧に刺繍してケースの中にメッセージも添えて入れてくれましたあのプレゼント。透明のプラスチックの四角いケースに、白を背景に鞍のつけてある赤い馬が描かれていて、まるで主人を待っているように見えました。詩的想像力を発揮してみましようか。

私はあの馬に乗ってどこまでも行ってみたいです。遠い国であれ、最も遠くて深い人間の心の奥にまでもです。何故、それができるのでしょうか。それは友哉君とアヤミちゃんが暖かい心で見守ってくれているからです。

人間は自分一人ではそんなに偉大なことを成し遂げることはできません。偉人と言われる人物には、人一倍の努力も必要ですが、他の人々の心を開く能力が何より大事です。一人でやれることは所詮たかが知れているような気がします。自分の考えに拘らず、相手の話をよく聞き、思いもよらなかった新しい方向に進んでいく。つまり、誰かの意見・判断のままではなく、相手も自分も気づかずにいた新しい案・道・判断が切り開かれるということです。その為には自分自身を全き信頼を持って相手にあるがままに委ねること、そして、相手があるがままに受け入れることが大事でしょう。

自由、はい、それを自由と言います。自分も自由になり、相手も自由になる。口先では簡単ですが、これを実際生きていくのは大変難しいことでしょう。しかし、今友哉君とアヤミちゃんが

勉強しているイエス様のことを思い出して頂きたい。イエス様の生き方のことです。真実をとことん語る。人をあるがままに受けとめ、その苦しみを共にする。遥かに大きい神様の愛をイエス様は惜しみなく与えて下さいました。人々の心を開き新しい道を示して下さいました。誰もが思いもよらなかった道です。人の為に自分の命さえ捨てる・捧げる道です。これは世の一般的考え方では愚かさの限りを尽くす生き方ですが、神様を信じる人はそのつもりで生きていくのです。

勇気、そうです。大きい勇気でなければ、歩むことのできない、苦しみの道です。不思議なことです。イエス様はその道を切り開き、自ら進んで歩まれました。それを私も歩もうとしています。友哉君とアヤミちゃんにも、この先洗礼を受け信者になったら、イエス様の生き方を真似して欲しいと思うのです。

怖いとか、やりたくないと言うかもしれませんが。その答えは今でなくてもいいです。何故なら、それは人間の力ではできないことだからです。能力があって、物凄い意志がある人がやれるのではなく、神様にすべてを委ねることができる人だけが歩める道で、これは強いられてでもなく、自ら喜びを持って歩み始めなければならないのです。怖くないの、という友哉君やアヤミちゃんと違って大人たちはこう反応するかもしれません。それ、損じゃないの、と。はい、間違いなく損です。しかし、損を喜んで受けることで、人間は最も人間らしく生きていくのです。イエス様はその損の極みである十字架での死を受け入れたのです。

怖いし大変な損を何故受け入れたのでしょうか。友哉君が作ってくれたダーラナホース。友哉君が大変な時間・手間をかけて作ってくれたあの馬のクロスステッチ。友哉君は既に長らく私が綴っていることが分かっているのです。

いいプレゼントをあげたい、喜んでもらいたい、という気持ちが正にイエス様の心です。友哉君は大変な時間・手間という損をしながら私にプレゼントをしてくれたのです。友哉君のあのプレゼントはそれほど大事で重みのあるものです。その心を忘れないでいて欲しいのです。友哉君とアヤミちゃんとの素晴らしい出会いのことで、神様に感謝します。

わたし達の友情が神様の中で深まっていくようにお祈りします。人間はいつか死んでいく。この世から消えるのですが、決して消えないものがあります。大事にしていた人々の心に残る思い出・愛情、そして友情です。それらの残りという偉大な遺産によって人類は今まで生き残ることができました。その大事な役割を、私が死んだ後にも友哉君とアヤミちゃんが担ってくれるでしょう。安心です。今から二人は洗礼を受けて神様のことがどんどん分かっていくでしょう。その神様を通して、いつどこでもわたし達は会えるのです。祈りというプレゼントを通してです。

友哉君とアヤミちゃん、最近、私は大きい雨雲がとても好きです。今日の朝なんか風に乗っていく雲群に誘われて散歩に出かけました。難波宮跡を一周するいつものコースにです。宮跡を何回も覆い尽くすほどの雲がのびのびと飛んでいく場面は素晴らしいでした。嬉しくなります。何故、と自問してみました。宮跡の周りを、雲の群れに見惚れながら歩いているうちに分かったのです。雲は多くの水分を含んでいて、この先どこかで雨の形で大地に降って来ますが、まず雨の粒になる為には周りの水分がくっつく埃が必要であって、その埃を囲んで雨粒が大きくなっていき、それが集まったのが雲です。悠々と吹かれていく巨大な雨雲は沢山の雨粒を抱えており、豊かな雨で大地を潤すでしょう。司祭は信者の方々の、神様への祈りという水分を引き寄せる埃のようなものです。その祈りを、願いを多く含んだ雨雲・司祭は神様の恵みという雨を大地に降らしては消えていくのです。はい、私はそのような司祭でありたいのです。そして、雨雲を見かける度にとっても嬉しくなるのです。

復活祭に受けるでしょう友哉君とアヤミちゃんの受洗礼、予めおめでとうございます。それでは、いつもお元気で。



主の平和

2016年12月23日、[第9回クリスマスコンサート]を無事開催することができました。心より感謝申し上げます。

風の強い曇り空の中、このコンサートの主旨である「信者ではない方々」にもたくさんご来場いただけて、大変嬉しく思っております。

25周年を迎えられた宮崎剛氏の素晴らしいピアノ演奏・合唱団 CET の方々の美しいハーモニー・マンニ神父様のお話など、主の御降誕を迎える前の心の準備となり、一緒に大きな声で歌ったりと楽しいひと時であったと思います。

合わせて行いましたクリスマス募金は¥31,488 翌日・翌々日の妙時の募金、更に教会青少年部の協力を得て計¥77,822 となり、聖ザベリア宣教会マンニ神父様を通して、「貧しい国の子どもたちを支援するプロジェクトチーム」の活動団体に送金させていただきました。

休憩時、快くおトイレをお貸しくださった小林美術館様、お忙しい中、手作りケーキ・お茶菓子など差し入れて下さった方々、準備から後片付けまでお手伝い下さった方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

ご意見・ご感想などございましたら、是非お聞かせくださいませ。



カトリック浜寺教会
クリスマスコンサートスタッフ・信徒一同



新年会&成人式

1月8日(日)ミサの中で成人式が行われました。今年、当教会で成人を迎えられたのは、永尾愛さんと重井優成さんです。成人、おめでとうございます！

ミサ後、行われた新年会にはたくさんの方が参加され、サンドイッチやお寿司をいただきながら、楽しいひと時を過ごしました。



ユスト高山右近列福式 2月7日(火)

いよいよ来月は、大阪城ホールでユスト高山右近列福式です。右近は、秀吉の大阪城築城に合わせて、新たな福音宣教のため 大阪教会建築に尽力しました。

列福式：2月7日(火)12時～(開場11時) (大阪城ホール) 入場整理券必要

列福式前夜の祈り：2月6日(月)17時～ (大阪カテドラル聖マリア大聖堂) 入場自由

列福感謝ミサ：2月8日(水)10時～ (大阪カテドラル聖マリア大聖堂) 入場自由

当日列福式に参加できない方も、大阪城ホールで開催されるユスト高山右近の列福式ミサの模様を、インターネットで生中継されます。視聴は無料、手続きなども不要です。

放送日時：2017年2月7日(火) 11:00～15:00 (式典は正午開始)

アクセス方法：以下のYouTube サイトから

www.youtube.com/watch?v=d96PSEkMqHo

また列福式のミサの様子は、式後も、いつでも視聴できます。

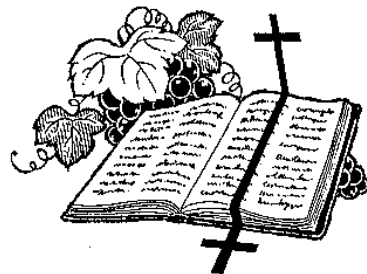
四旬節黙想会 3月5日(日)岸和田教会

テーマ：「福音を生きる、福音を伝える」

クラレチアン会 アバイヤ神父様

【プログラム】

- 11:00 黙想への導入 (ふれあい)
- 11:20 黙想 「神のいつくしみの証人」
- 12:00 昼食
- 13:00 黙想 「福音の喜びの証人」
- 13:45 分かち合い
- 14:30 沈黙
- 15:30 ミサ



黙想(講話)は2回あります。昼食(500円)を希望される方は、2月26日までに元阪さんにお申し込みください。また、車でお越しの方は駐車券を8枚用意しています(こちらも元阪さんへ)。

当日のミサに関しては、各教会、通常の朝9:30～のミサは行われます。

2月の主日ミサ担当一覧

		浜寺 9:30	和泉 9:30	岸和田 9:30
5日	年間第5主日	ベスコ	村田（評議会）	カルロス（評議会）
12日	年間第6主日	カルロス（評議会）	ベスコ	村田
19日	年間第7主日	村田	カルロス	ベスコ
26日	年間第8主日	ベスコ	村田	カルロス

◇毎週土曜日 19:30 主日前晩のミサ(和泉)

◇平日のミサ

浜 寺：火曜日（毎週） …9:00	和泉：月曜日（毎週） …19:00
木曜日（第2, 4）…9:00	金曜日（毎月第1）…9:30
金曜日（毎月第1）…9:30	岸和田：木曜日（第1, 3）… 9:00

◇ポルトガル語ミサ 毎月第2日曜日…11:00（浜寺）

◇英語ミサ 毎月第4日曜日…15:00（岸和田）

2月の各種集いの案内

- ◇ 聖書の分かち合い (Fr.村田)・・・第1、3金曜日 19:00；浜寺教会
- ◇ 聖書の分かち合い (Fr.カルロス)・・・第2、4木曜日ミサ後；浜寺教会
- ◇ キリスト教入門講座 (Fr.カルロス)・・・第2、4火曜日ミサ後；浜寺教会（開催日注意）
- ◇ キリスト教講座 (Fr.カルロス)・・・第1、3土曜日 13:00；岸和田教会
- ◇ 聖書の分かち合い (Sr.ルイザ)・・・毎週土曜日 14:30；和泉教会

2月の奉仕者当番表

典礼奉仕について都合の悪い方は必ず典礼委員までご連絡ください。

（敬称略）

	先唱	子供侍者	第一朗読	第二朗読	名札受付 共同祈願	掃除当番	お茶当番
	聖体奉仕						
5日					青少年 評議会	高石	泉大津①
12日					広報		堺③
19日					評議会	泉大津	高石
26日					財務	堺	泉大津②